

高校生議会開催 ～ふるさと探究 総仕上げ～

1月22日（火）、「ふるさと探究高校生議会」が山田町町議会議場で開催されました。

3年生が学校設定科目「ふるさと探究」で、一年間自分たちで気付き調べた問題点を、議会で質問、提案を行い、町政に参画し、町の復興、発展に貢献することが目的です。

3年生9名が、代表して質問、提案を行いました。

佐藤信逸町長、昆暉雄町議会議長、佐々木茂人教育長をはじめ、多くの役場職員の皆さんが出席していただき、熱心に生徒の発言を聞き、答弁をしていただきました。答弁書の準備等、お忙しい中時間を割いていただき、心より感謝いたします。

質問、提案の内容は次の通りです。

	質問者	質問事項	担当課
1	佐々木 茉祐	1 災害公営住宅の空室について 2 地域コミュニティ形成について	建築住宅課
2	遠藤 香乃	1 医師・看護師不足の是正について	健康子ども課
3	阿部 竜成	1 シーカヤック体験について 2 観光振興と民泊について	水産商工課
4	福士 優	1 防潮堤の表示について 2 防災無線のチャイムについて	水産商工課 総務課
5	佐々木那緒登	1 町民の減塩の取り組みについて	健康子ども課
6	佐々木 寛斗	1 企業誘致について	水産商工課
7	野田 明正	1 ごみ問題について	町民課
8	佐々木アンナ	1 保育について	健康子ども課
9	山崎 智子	1 町の歴史について	生涯学習課

1番の佐々木茉祐議員の災害公営住宅の空室については、「これから入室を希望する方、家を建てる方針を変えて入居を希望する方のため、一定数の空室の確保が必要。被災された方の入居希望が明らかになくなった場合は、被災されていない方にも募集を行う。災害公営住宅は住宅という目的で建てられたので、地域の交流の場等への利用には慎重でなければならない」と佐藤町長から答弁がありました。

3番の阿部竜成議員の質問へは、佐藤町長より「町でシーカヤック指導者養成研修会を実施している。浦の浜に『海洋性体験型観光拠点施設』を建設予定なので、今後もインストラクター養成に取り組みたい」との回答。

また、7番野田明正議員のごみ問題には、「『きれいな山田を守りたい』といった気持ちが大切で、環境美化に対するモラルの高揚を図る取り組みを実施している。山田高校生もごみ問題に関心を持ち続け、様々な場面でごみ拾い活動に参加してもらいたい」と、佐藤町長からお話がありました。

質問に立った生徒からは、

「伝え方が甘いところがあった。このような機会は他の高校ではないと思うので、貴重な経験でした。私は4月から山田を離れるので、最後に山田のために貢献できてよかったです」（福土優議員）

「議員として初めて話したのでとても緊張しました。町の歴史についての質問に、生涯学習課の方が分かりやすく答えていただき、山田で開講している講座の存在を知ることができました。」（山崎智子議員）

「授業で学び調べたことを議場で町長さんや各課長さんに伝えることができ、貴重な経験でした。ごみ問題を質問しました。復興して観光客が増えたとき、きれいな町だと思われるよう、意識して行動していきたい」（野田明正議員）

「高校生の意見を聴いてもらうことで、山田町の発展に繋がると思うので、よい機会でした。沿岸地域の医師、看護師不足を改善する特別枠入試は難しいということでしたが、奨学金の活用で改善に繋がってほしいです」（遠藤香乃議員）などの感想がありました。



思春期歯科指導講座 ～健康は歯から～

1月18日（金）5校時に、学校歯科医木澤貴洋先生を講師にお招きし、1年生52名を対象に「思春期歯科指導講座」を開催しました。

自分のブラッシングの特徴を確認し、正しいブラッシングへ改善を図ったり、歯周病疾患予防方法を学んだりしました。生涯充実した生活を送るためには、歯の健康が欠かせないことを理解しました。

B組佐々木唯斗さん「普段ちゃんと歯を磨いているつもりでしたが、意外に前歯などが磨けていないと分かりました。今まで虫歯がないので、今日学んだことに注意して、虫歯ゼロを続けたいと思いました。」

熱心にご指導くださいました木澤先生はじめスタッフのみなさん、ありがとうございました。

